

## 日時

2024年6月26日

## 職員

笹沖支店 佐藤 洋輔、小溝支店 小野 鉄朗、事務部 小林 駿祐、  
中庄支店 小谷 勇人、西阿知支店 松岡 大道

2024年1月29日に実施したコンペティション「Beyond30」(※)の参加者が取引先事業者さま等での“体験”を通じて感性を磨く「体験型研修」。

今回は30代の職員5名(営業担当者4名、本部1名)が真庭市のSDGs・バイオマスツアーに参加しました。

当金庫では今後も職員が自由に学べる職場環境づくりに専念して参ります。

※Beyond30についてはこちら↓

<https://www.shinkin.co.jp/tamashima-sk/info/etc/entry-1418.html>

## 体験の目的／この研修を選んだ理由

- ・以前から取引先事業者さまとの間でSDGsや省エネ等が話題になることは多くありました。当金庫もe-dash(CO2排出量を可視化するツール)やソーシャル企業認証制度(S認証)など、SDGsに資するサービスを拡充しており、今後、提案活動を強化していくためにも、まずは企業の先進的な取組みを肌で感じ、自分自身の知識を深めたいと考えました。

- ・以前、真庭市の企業を訪問した際、真庭市がSDGs未来都市に選定されていることを知りました。日頃訪問させていただくお客様は県南エリアに限られているので、この機会により広い視野で企業や自治体の取組みを知りたいと思いました。

## 体験をしてみた感想・学びなど

今回のツアーではランデス株式会社さまと銘建工業株式会社さまを視察しました。2社の取組みを取引先事業者さまに紹介するとともに、何ができるのかをお客様と一緒に考えていきたいと思えます。

### ■ ランデス株式会社さま

#### 事業内容

コンクリートをはじめとした様々な製品の開発

#### 取組み

- ・CO2を吸収して硬化するコンクリート素材「CO2-SUICOM」を開発。
- ・製鉄所から排出される高炉スラグを有効活用したBFSコンクリートを開発。通常のコンクリートに比べ約40%のCO2を削減できる。
- ・野生の動植物の生息・繁殖を妨げない改修工法を開発。

### ■ 銘建工業株式会社さま

事業内容 大規模木造建築、集成材生産

#### 取組み

- ・集成材やCLTを作る過程で1日140~150トン発生する木くずを木質ペレットとして再利用し、バイオマス発電の燃料として活用。
- ・自社のCLTや集成材を使用した事務所に建替え。

